



Tokyo / YukIDS

SAT だより

SKI ASSOCIATION OF TOKYO NO.94

発行 (一財) 東京都スキー連盟
〒102-0093 千代田区平河町 1-4-15
平河町小池ビル 2F
TEL 03-3262-2491 (代)

発行日 2024 (R6).7.20
編集 SATだより編集委員会
印刷 株式会社リョーワ印刷



2024 シーズンを終えて



一般財団法人 東京都スキー連盟
会長 和田守義

2024 スキーシーズンも瞬く間に過ぎ去ってしまいましたが、皆さまにとって今シーズンは、どのようなシーズンでしたでしょうか。東京都スキー連盟の行事は、今シーズンもまた雪不足を心配しながらの実施となってしまいました。今年2月までは例年にも増して少雪で、3月後半の行事の実施が危ぶまれるような状況でした。しかし、幸いにも3月に入ってから寒の戻りで少しまとまった降雪があり、今シーズン一番のベストコンディションとなって営業期間を多少延ばしたスキー場もあったようです。この様な近年の温暖化による雪不足など気象条件に大きく左右される状況の中でしたが、計画された行事は、ほぼ予定通り無事終了する事ができました。参加された会員の皆さま、また運営に携わった関係者、スタッフの皆さま方のご協力、ご尽力に、心より感謝申し上げます。

今年は、2年に一度の理事、監事、そして4年に一度の評議員の選挙が同時に実施されます。東京都スキー連盟は、以前の財団法人の時には、理事、評議員それぞれの定数は十分多かったのですが、一般財団法人になった時点で、理事は10名以上15名以内、監事は2名以上3名以内、評議員は20名以上30名以内と大幅な規約変更となりました。しかも、今現在の役員在籍数は理事、評議員ともに下限ぎりぎりの状態となっています。組織運営上、このような少ない役員で長く担っていくことは、決して好ましい状態ではないと思います。今年の選挙に際し

て加盟団体或いは会員の皆さまからの推薦又は立候補をぜひお願いいたしたい。意欲的で優秀な候補者が沢山手を上げて頂けることを期待いたしたいと思います。

日本全体のスキー人口の実態としてスキーヤーが大幅に減少して、低迷するスキー界と言われて久しいのですが、近年ではピーク時の3分の2、推定で600万人ほどのスキー人口で推移していると思われます。都連加盟団体でも、クラブ所属会員の減少で15名の都連加盟条件を維持できず、やむなく退会に至るケースが年に数件あり、この傾向は俄かには収まりそうにありません。連盟としては、何とかしてスキーヤー全体の数を増やして、都連会員の減少をくい止め、更には増加に転じて、かつての勢いを取り戻したい、と考えています。それには、やはり都連に加盟するスキークラブ或いはスキー協会などの団体が元気に、そして活発に活動する事が一番であると思います。都連と加盟団体とが手を携えて、この快活でこんなにも楽しいスノースポーツをみんなで盛り上げていこうではありませんか。

スキーシーズンは終わったばかりですが、早くも体力づくりやマテリアルの検討など来シーズンに向けての準備に余念がないことと存じます。どうぞ充実したグリーンシーズンをお過ごしいただき、来るシーズンも皆さまのスキーライフが一層充実したものになりますよう祈念申し上げます。

これまでも、そして、これからも もうすぐ100年!

菅平高原スノーリゾート

Since 1927



日本百名山「四阿山」 花の百名山「根子岳」を望む



信頼と実績が培った97年の歩み…国内有数のスノーリゾート

一般社団法人

菅平高原観光協会・菅平旅客索道協会・菅平高原旅館組合

<https://sugadaira.com> E-mail info@sugadaira.com

〒386-2204 長野県上田市菅平高原 TEL.0268-74-2003 FAX.0268-74-2353

総務本部 2024 シーズンを終えて 総務本部長 栗飯原 勉



新型コロナが5類に移行されたことから、新型コロナ前はかなり近い形で、会員の皆様と直接の対面での加盟団体長会議、事務担当者会議、都連を語る会をはじめとする在京での各事業を無事に終了することができました。また、「SATだより」の取材として総務専門員を雪上行事の会場へ派遣しました。地元の皆様、各本部のスタッフ等の関係者皆様のご協力を得て、今回も有意義な取材となりました。ありがとうございました。会員の皆様におかれましては、今年度も本連盟へのご協力に感謝します。

教育本部 2024 シーズンを終えて 教育本部長 金子 奈々



会員の皆さま日頃より本連盟にご理解ご協力くださり感謝申し上げます。また、教育本部専門員の皆さまにも日頃よりスムーズな行事運営にご協力くださりありがとうございます。

教育本部長金子奈々です。

コロナウィルス感染症が5類に引き下げられ、通常のシーズンになろうかとワクワクしていたのも束の間、シーズンに入るや否や小雪により、行事の開催が危ぶまれたのがつい最近のように思い出されます。12月中の研修会は思うようにスキーはできませんでしたが、本連盟所属のデモンストレーターが参加の皆さまと研修する機会を設け研鑽していただけたと思います。また、トップシーズンである2月にも研修会を実施し、志向別の班編成でしっかりと滑り込むこと

ができました。

準指導員検定会は、2回の養成講習会と、レベルアップ講習会でトレーニングを積んでいただき、合格率30%程となりました。

東京都スキー技術選手権大会、スノーボード技術選手権大会は高峰マウンテンパークに場所を移し、スキー場を貸し切った開催となりました。スキー場の皆様ご協力のもと、地元の地方自治体と連携し、キッチンカーの出店、特産品の振る舞いや、試飲会開催など、すべての方に楽しんでいただけた大会となりました。全日本スキー技術選手権大会では男女共に2名がスーパーファイナルに進出。全日本スノーボード技術選手権大会ではアルペン男子優勝と優秀な成績を残すことができました。

オープンジュニア技術選、フォルクルオープンマスターズスキーサーキットステージⅡは、昨シーズンより開催時期を早め、雪の心配なく開催することができました。たくさんの選手に参加していただき感謝申し上げます。

ユキッズスノーフェスティバルは親子参加型の研修会でお子様と共催で行い、保護者の方とは別の班でスキークロス、検定などを通してスキーを楽しみました。

今シーズンも大きな事故なくシーズンを終えられたことに感謝申し上げます。

競技本部 2024 シーズンを終えて 競技本部長 山崎 智広



まずは、23-24 シーズン 競技本部主催の各種行事にご参加いただいた皆様、公認大会を運営いただいた各クラブ様、大会運営にご協力いただきました役員の皆様に御礼を申し上げます。

右も左も分からない中、無事競技本部長の重責を全うできたのも、皆様のご協力あってのことでございます。

今シーズンは2月前半まで小雪の影響を強く受け、行事の中止を決断しなければいけないこともありました。行事参加の皆様にはご迷惑をおかけしたものと思います。スキーは自然相手のスポーツですので仕方がない部分もございますが、このような傾向が今後も増えていくのであれば、会員の皆様に影響が少なくなる行事スケジュールを考えていかなければならないものと思っています。

来シーズン以降もより魅力的な行事を開催できればと思っておりますので、今後ともどうぞよろしく願いいたします。



SUGADAIRA KOGEN SNOW RESORT
菅平高原スノーリゾート

高い晴天率、良質な雪、首都圏からのアクセス良好



2023-2024 シーズン



たくさんのご愛顧をいただき

☆ ありがとうございます！ ☆

2024-2025 シーズンも皆様のお越しを
心よりお待ちしております！

2024-2025 シーズンの情報は公式ホームページや SNS で随時更新！
フォロー&チェックをお願いします！！

菅平高原スノーリゾート
公式ホームページ



菅平高原スノーリゾート



ゲレンデ OPEN 情報・リフト運行情報など
リアルタイムでご確認いただけます

SNS 公式アカウント



菅平旅客索道協会

〒386-2204

長野県上田市菅平高原1223-146 (株)ハーレスキーリゾート内

TEL.0268-74-2137 / FAX.0268-74-3401

12月エントリー開始。



第5回 全日本マスターズ スキー技術選手権大会

2025.1.31(金)~2.02(日)

足自慢のSkierの
ご参加！
お待ちしております。





第78回 国民スポーツ大会冬季大会 及び 第12回 猪谷杯大回転競技会

2024年1月5日(金)～8日(月祝) 菅平高原パインピーク

1月5～8日、菅平高原パインピークで開催されました。記録的な雪不足で、大会直前まで開催できるか、ジュリーメンバーは連日苦悩し、地元スタッフをはじめとする大会関係者の大会開催に向けた懸命な努力で、ようやく開催することができました。選手の安全を第一に考え、雪面状態を見極め、ルールに則り、スタート地点やゴール地点を設定し、旗門を絶妙に配置した最高の戦いの場に仕上げました。朝は、霧が出た天候でしたが、大会中は晴れ間も覗き、好コンディションの中での熱戦が繰り広げられました。

出場の意思確認や、連絡事項などを、SNSを用いた方式で行うこともすっかり定着し、選手も試合により集中できるようになりました。

専用のゴールハウスが建っていることで、風雨を完全にシャットアウトして、タイム測定等の電子機器やパソコン類も安定し、レースのタイムスケジュールが円滑に進みます。いつもながらの少しでも良い雪面コンディションを保つため、コース整備が随時、地道に行われています。選手も安心してフルアタックでき、素晴らしい大会となりました。

猪谷千春SAT名誉会長も、大会会場にお越しになり、風が冷たい中、熱心にレースを観戦し、選手に熱い yell を送っています。

ゴール付近では、1位から5位まで、電光掲示板にくっきりと掲示され、自分の成績と比べ一喜一憂しています。選手の皆さんは、新型コロナが5類に移行し、以前のように互いの健闘を讃え合える喜びに、笑顔が絶えず、会話もはずみます。サポーターの方も含め、皆さんの笑顔を見ると、大会関係者の大会開催に労した努力が報われたのではないのでしょうか。とても素敵な大会でした。

来年は、さらに多くの選手がエントリーして、一層盛り上がる大会になるよう願っています。





猪谷名誉会長



和田会長



ゴールハウス



FINISH



表彰式



2024 東京都スキー・スノーボード技術選手権大会 兼 全日本スキー・スノーボード技術選手権大会出場者選考会

2024年1月27日(土)～28日(日) 菅平スノーリゾート

スキー女子

1位 太田 好美 [日建総業スキークラブ] 2位 根本 風花 [ゴールドウインスキークラブ] 3位 野々山 颯絵 [ヘッドスキークラブ]

スキー男子

1位 山田 椋喬 [ヘッドスキークラブ] 2位 頼光 一太郎 [八王子スキー連盟] 3位 松本 聖 [デサントスキーチーム]

スノーボード女子

1位 河合 美保 [JaSRA (ジャスラ)] 2位 永野 理奈 [野獣会スノーボードクラブ] 3位 知野 聖世 [JaSRA (ジャスラ)]

スノーボード男子

1位 青木 玲 [ラスカルスキークラブ] 2位 大石 広行 [野獣会スノーボードクラブ] 3位 藤原 秀隆 [野獣会スノーボードクラブ]



今年は、高峰マウンテンパーク（旧アマサ 2000 パーク）を貸し切りにしての開催となりました。寒さ厳しい中、早朝から選手の皆さんが集まり練習をする様子に毎年のことですが緊張感が高まってきました。

実力を出し切れ喜ぶ選手と応援団、思うように点数が出ず早くも来年に向けて問題点を考える選手、懐かしい仲間との再会に盛り上がる人、様々な人が充実した2日間を過ごせたようです。

毎年特に心温まる気持ちになれるのが、スノーボード選手の皆さんです。ベテラン選手も初出場の選手も一体となって全員の応援をする姿、滑り終われば、次に滑ってくる選手に声援を送る姿、お互いに健闘をたたえあう姿、真剣勝負の中でも仲間意識の強い明るい選手の皆さんの姿にはこちらもつい一緒に笑顔になっていました。



手作り横断幕で応援



大会終って 紀真耶さん、山崎操さんと一緒に

会場では小諸市、佐久市といった地元の方々が焼き鳥や豚汁等、地元商品の無料ふるまいサービスで会場を盛り上げてくださいました。他にもタコライスやスパイス料理、クレープのキッチンカーもあり、選手の皆さんも応援の皆さんも暖かいものや甘いものを食べて寒さと緊張感を和らげることができたようです。「お祭りのようだね」と好評でした。

真剣勝負の後のホッとする時間空間を演出し、大会を盛り上げてくださいました地元の方々に感謝いたします。



脂ののった焼き鳥 美味しかったです！



豚汁と焼き鳥 寒さを忘れられました



豚汁 最高でした！

選手に聞く

東京都女子3位、全日本女子7位、全日本決勝不整地では圧巻の1位281点の滑りに感動した方は多かったことと思います。野々山颯絵選手にお話しを伺いました。

野々山 颯絵 選手

こんにちは。白馬五竜とおみの麓のペンション出身、ののやまさえです。今シーズンは技術選をベストリザルトの7位で終わることができました。応援いただいた皆様、ありがとうございました。ヘッドスキークラブ所属のため東京都連に在籍していますが、今もベースは白馬でスキーの活動をしています。実家のペンションクックとスキー、他にもりんごのお酒の仕事など常に自然と近い距離で過ごしています。高校まで白馬で学生をして、大学は日本体育大学でアルペンスキーに取り組みました。アルペンスキーを始めるきっかけは小学校の学校内スキー大会でした。クラブに入っていた友達に負けたことが悔しくて同じクラブに入りました(笑)。それから大学までの10年以上をアルペン競技と向き合うことになりますが、大学4年生の時に技術選に挑戦してスキーの幅の広さを知りました。コブも滑れないし、魅せ方もわからない、できないことがたくさんある事を知り、技術選をベースにスキーの中でも色々なことに挑戦するようになりました。最近ではバックカントリーにハマっています。人生スキーに捧げていますが、まだ当分飽きそうにありません(笑)。



*

*

「20年ぶりに参加しました!」という新井誠さんにお話しを伺いました。



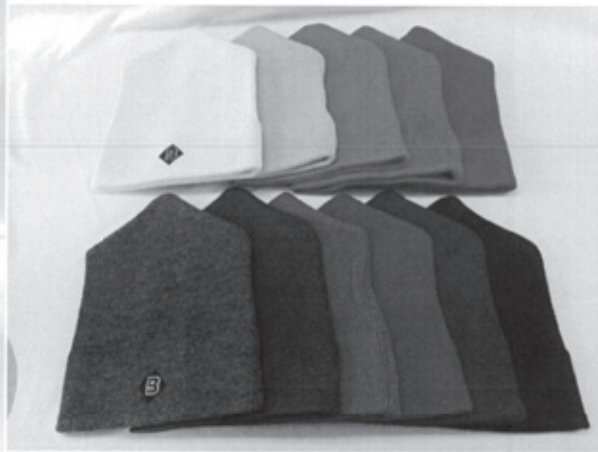
新井 誠 選手

大会参加のきっかけは、石川県能登島に住む友達家族と1月に一緒に滑る計画を楽しみにしていたのですが、震災の影響でそれどころではなくなってしまいました。避難生活をしながら頑張っている友達に対して自分も何か頑張れることがないかと思い、2001年度に挑戦したかなりレベルの高く怖い印象しかなかったスキー技術戦に23年ぶりに挑戦しました。

雪不足の影響でコブ斜面はほとんど練習できずに大会を迎え、事前練習でカチカチに凍っているバーンをうまく滑れない状況でしたが、本番では自分のベストを出せたと思います。他の種目も誰も滑っていない自分だけのバーンを滑る爽快感は何物にも代えがたいものだと思います。

きっかけは応援のつもりで参加しましたが、20年前とは違う体力や技術レベルで挑んだこの大会は、新たな挑戦と成長の機会でもありました。

今後もっと成長できると気づくことができましたので、機会があればぜひ出場したいと思います。



BOYA

boya-iezumi@cure.ocn.ne.jp

090-8450-4292

担当: 家住(イエズミ)



記録と記憶と共に・・・

Preserving Achievements

メダル・バッジ・カップ・トロフィー・楯
各種記念品・ノベルティ・雑貨の販売



Since 1908

**SHIBUSAWA
MEDALS**

株式会社 渋澤^{きしゅう}徽章製作所

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-8-6
Phone:03(3264)4238 Fax:03(3264)4260
E-mail:info@shibusawa-medals.co.jp
<http://www.shibusawa-medals.co.jp>

都心からのアクセス抜群!! 中央自動車道長坂インターより約 20 分
夏も冬も一年中楽しめる高原リゾート「サンメドウズ清里」



夏季営業



冬季営業

営業情報、お得な情報は HP で随時更新中!!



SUN MEADOWS
サンメドウズ清里 スキー場 /
ハイランドパーク

〒407-0311

山梨県北杜市大泉町西井出8240-1

TEL:0551-48-4111

<http://www.sunmeadows.co.jp/>



STJレンテックは
SNOW SPORTSを楽しむ人を応援します



STJ トランシーバー 無線機
STJレンテック

〒105-0022

東京都港区海岸2-2-6 7F

0120-984-875 担当犬竹

Snow Spirit





★宿泊のお問い合わせは★

ホテルニューダボス

〒386-2204 長野県上田市菅平高原1223-3790

TEL 0268-74-2066 FAX 0268-74-2711

HP <http://www.new-davos.com/>



雪化粧されたホテルの外観やお庭も幻想的で見どころ抜群です!

各種行事会場となる
裏太郎ゲレンデ内のホテルです!
スキー場まで徒歩0分!
東京都スキー連盟のお客様を
大歓迎いたします。



長野県菅平高原の宿

リゾートロッジすずもと

宿泊問い合わせ

〒386-2204 上田市菅平高原1223-5501

TEL0268-74-2110

FAX0268-74-3365

www.sugadaira.ne.jp/~suzumoto

リフト乗り場徒歩4分
スキー場への送迎あり
お風呂24時間入浴可能



全
WAX
フツ
素不使用



Skier @Tobias Kogler

TEAM
[RESCUE]
WAX



お問い合わせ
チームレスキューワックス総代理店
アイルージャパン合同会社
お問い合わせはホームページより
<https://airou.jp>
<https://www.teamrescue.co.jp>

Photo
チームレスキューカップ2023
ファーイーストカップ阿寒
撮影 山田芳尚



第77回クラブ対抗競技会

2024年3月2日(土) 菅平高原スノーリゾート ファミリーコース

クラブ対抗競技会が3月2日スラローム競技で実施された。菅平高原ファミリーコースを上から見てリフト左側に標高差100m 27~38旗門の2コースをセット、Aコース149名12部、Bコース126名6部に分かれて競技をスタート。選手たちは、クラブのためにも、自身のためにも、ベストを尽くした。

当日、(株)東京ビール様より、シリカ含有ナチュラルミネラルウォーターとエナジードリンク「インフィニティ」を大量にご提供いただき、選手らに好評を博していた。

長年この競技会に出場を続け、今年はお場の部で4位入賞した選手にコースインプレッションを聞いてみた。

「例年は気温が上がりコースが荒れるのですが、今年は気温も低く、硬い下地のおかげで終盤スタートでもコースの荒れは気になりませんでした。バーン状況は良かったと思います。

旗門セットはコースの標高差が無いので、12m程度の広めのインターバルでスラロームとしては易しいセット(コースも荒れにくい)、逆に言えば攻めるしかないコースセットだったと思います。自分の様なターンイメージが横移動だと遅いですよねえ・・・」

言葉の端々に向上心、あと一步ポディウム(表彰台)に届かなかった悔しさ、が滲む。

競技会が円滑に運営できたのは、(一社)菅平高原観光協会、菅平高原スキークラブ、(株)ハールスキーリゾート等関係者の皆様の多大なご協力によるものです。謹んで感謝いたします。ありがとうございました!!



第77回都民体育大会(区市町村対抗)冬季大会スキー競技会

2024年3月3日(日) 菅平高原スノーリゾート ファミリーコース

都民体育大会スキー競技会が3月3日開催された。良好なコンディションの中スラロームで争われ、菅平高原ファミリーコースを上から見てリフト左側に標高差100m 27~38旗門の2コースをセット、Aコース181名6部、Bコース147名3部に分かれて競技を開始し、熱戦を繰り広げた。

なお、都民体育大会という名称で行われるのは今年で最後、来年からは、国体が国民体育大会から国民スポーツ大会へと改称されるのと同様、「国民スポーツ大会」となる予定とのこと。



2024年度 スキー指導者 準指導員検定会

2024年3月9日(土)～10日(日) 菅平高原スノーリゾート

今年の準指導員検定会は、申込数186名に対して前日約8割の147名が受付を済ませ当日の受付を含め171名の受検者で行われた。結果は合格者65名、合格率38%だった。

4年ぶりに開催された開会式では和田会長の挨拶、検定員の紹介等があり、初日6種目3班に分かれて実技検定がスタートした。

今年は雪不足が心配され2月は気温も高く積雪50センチ前後、悪条件の雪質の中受検者達はこれまでスキー指導者養成講習会、レベルアップ講習会等 検定会に向けて取り組んできた。しかし検定前夜20cmの積雪があり最高気温も氷点下の状況、練習してきた雪質とは異なりこれまでにない最高の雪質での検定会となった。

雪質の変化にも対応でき、種目毎に求められている演技要素を滑りの中で表現し検定員に伝えられるかが鍵となった。そして国際リゾートセンターで理論検定。



プルークボーゲン



基礎パラ小回り



パラレルターン大回り



不整地小回り

二日目は、残り2種目を行い、そして合格発表となった。

今年から合格発表はこれまでの国際リゾートセンター駐車場から2階コンベンションホールで開催されサポーターを交えた従来の発表会となった。結果表はそれぞれ封書で配られ、開封とともに歓喜に沸く者、肩を落とし意気消沈する者、サポーターと喜びを分かち合うものそれぞれの表情が見られた。

講評では、「理論は全員がよく勉強した結果が表れていた。実技では練習してきた雪質と違ったと思う。雪面に対して丁度良く動いていたか、雪質（自然）に合わせていたか。スキーマスターとしてゲレンデに立ってほしい人を合格にした。」種目毎の講評はそれぞれ班長からあり、準指導員検定会の幕を閉じた。

また、並行して進められたB級検定会も開催され指導員検定を合格された34名が受検した。午前中準指導員種目別検定に合わせ検定員指導の下実技検定が行われた。受検者は次々に滑走してくる対象者を考える間もなく採点をしていた。午後リゾートセンターで理論検定が行われ翌日合格発表となり全員が合格した。



滑走プルークから基礎パラへの展開



横滑りの展開



シュテムターンスタート地点



総合滑降・リズム変化



2024 全国 Yukids スノーフェスティバル

2024年3月16日(土)～3月17日(日) 車山高原スキー場

今年は小雪と言われながらも、3月に車山高原スキー場にて「2024 全国 Yukids スノーフェスティバル」が開催されました。

ジュニア1級を目指す滑り慣れた子供から、始めたての子供まで6班に分かれてスキーの習熟を目指します。

ゲレンデでは、基礎スキーだけでなく、昨年同様にネトロンをポールに見立てたタイムトライアルや、アップダウンのあるスキークロスを体験するなど、多様性のある指導内容に、子供たちも飽きる事なく楽しんで参加していました。

特に、ポールもスキークロスも初めはおっかなびっくりな滑りだったのが、どんどん習熟してカッコよくスピードに乗っていく様子が見ていて頼もしく思えました。

初日の夕方には、保護者向けに子供指導セミナーが行われ、平昌オリンピックにて女子スキークロス出場の梅原玲奈さんからは、両親のサポートと自分の頑張りで、雪あり県の競合選手と戦ってこれた。オリンピックに出場できたのも諦めず、腐らずに多くの困難を乗り越えてきたからと、自らの経験を交えての内容。また、田中学先生からは、①恐怖心を無くす②やる気にさせる といったポイントから、継続させ、スノースポーツから子供達の発展を導きたいといった充実した講演でした。

2日目は、ジュニア検定で緊張した後、雪上運動会で締めくくりました。

合格証・バッヂを手にして嬉しそうな子、合格できずがっかりする子、運動会の景品をもらってはしゃいでいる子などなど、どの子も目を輝かせていたのが印象的でした。



Jr. 1級合格者



Yukids 2班



Yukids 6班



Yukids 3班

コンプライアンス研修会のお知らせ

今年もコンプライアンス研修会が開催されます。

2024年10月5日練馬区生涯学習センターにて実施予定です。

自分では気が付かないうちにハラスメントとなっていた、そんな話をよく聞くようになりました。例年、注意すべき点を外部の弁護士にご講演いただいています。

一般会員の方々も含めより多くの方に受講していただき、知識を深めて各クラブにて情報を共有してください。

尚、役員、特に三本部の専門員、指導の現場に立つ指導者の方々には必須の内容となっております。できるかぎり受講をお願いします。



(2023年11月の開催模様)

人命救助について

今年度の都連行事において、講師及び行事参加者が一般の方の事故を発見する出来事がありました。幸い迅速な人命救助の結果、無事に帰宅することができ、事無きを得ました。都連では今回のようなスキー場で突発的に発生する事故に対しての啓蒙活動として、加盟団体向けの安全対策講習会を開催しておりますので、ぜひご参加いただき救急対応の知識をクラブ員の方にも共有していただきたいと考えております。



2024年度 加盟団体長会議

2024年6月2日（日） 練馬文化センター小ホール

2024年度加盟団体長会議が、6月2日（日）12時30分から練馬文化センター小ホールに於いて団体長89名（出席率21.5%）の出席のもと開催されました。

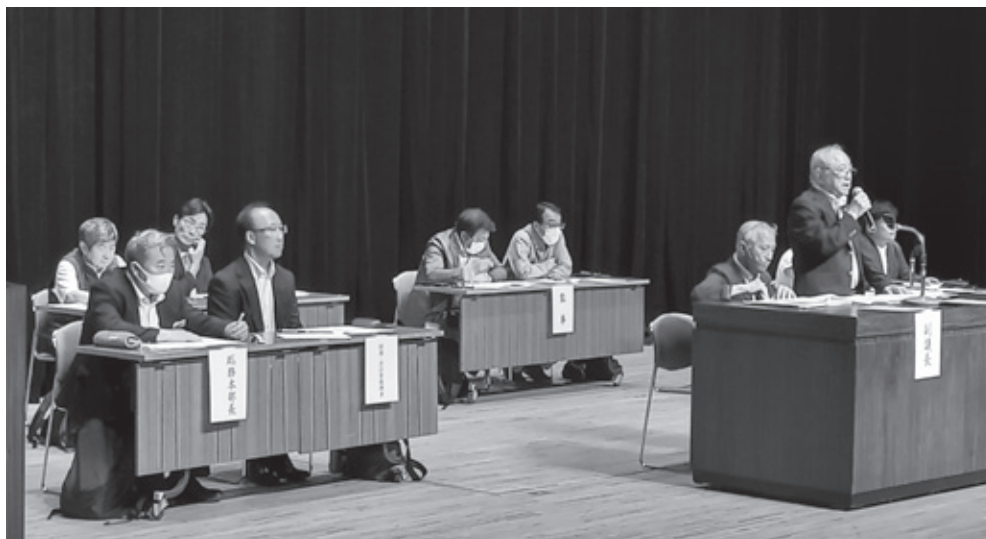
会議に先立ち、第77回クラブ対抗競技会の団体表彰が行われ、入賞した10団体中9団体が表彰され、表彰状、盾が和田会長より授与されました。

会議は2024年度事業（雪上）の報告について、金子教育本部長と、山崎競技本部長よりそれぞれ報告がありました。

引き続き、加盟団体からの提案・要望について、総務、教育、競技それぞれの本部長及び専務理事から事前に提出いただいた件について、回答と説明がありました。団体長からの質問に対しても丁寧な応答を行い滞りなく終了しました。

この加盟団体長会議は、都連会員みなさまの声（要望・提案）を直接お聞きする場です。

多くの出席と多くの貴重な意見や要望・提案をいただき、より良い都連運営を目指していきます。更なるご協力をお願いいたします。





全国 Yukids スノーフェスティバル

2024年3月16日(土)～3月17日(日) 車山高原スキー場



Yukids 1班



Yukids 4班



Yukids 5班

東京都スキー・スノーボード技術選手権大会

2024年1月27日(土)～28日(日) 菅平スノーリゾート



緊張のスタート前



技術選大会 MC 紀真耶さん アンバサダー山崎操さん



選手によるコース整備 美しい!



ボード選手最終種目みんな応援



元気いっぱい! ボード選手



温かいものでほっと一息



運転手以外の方限定!



コーンポタージュほっとします



お買い得品いっぱい!

2024年度 スキー指導者 準指導員検定会

2024年3月9日(土)～10日(日) 菅平高原スノーリゾート



準指検定合格発表



準指理論検定



準指検定コブづくり



準指検定検定員



B級検定



B級検定合格発表

加盟団体長会議

2024年6月2日(日) 練馬文化センター小ホール



団体長会議



団体長会議受付

SAT だより No.94 編集者

◎編集長：栗飯原 勉

◎編集委員：福野 壽史／小出 千恵子／原田 浩子／竹林 美和子／柏原 俊樹
朝見 正司／浅野 秀一／丸 玲子